

次ページにて、 についてより詳しくご紹介しています。

<コラム>

## 信頼は紙で伝わる



デジタル時代ではありますが紙・印刷物には独自の価値があります。  
記憶に残りやすく、集中して読める特性があり、さらに質感や信頼感を演出することができます。

内容のご質問等については、TEL 0258-33-8836 担当 榎ネオス 山本 まで

配信中止等のお問い合わせは、ホームページ <https://www.3d-m.jp/contact/others/>

各種相談受け付けております。

“ワンストップ相談会” 毎週金曜日 TEL 0258-36-2685 (要事前予約)

個人に関すること、経営に関することを各専門家がワンストップでご相談に応じます。

1. 紙の資料で読んだ方が内容の理解が深いという学術研究の報告もあります。(公益財団法人 文字・活字文化推進機構 <https://www.mojikatsuji.or.jp/news/2022/09/27/5942/>) 紙に触れ、めくり、目で追うという“身体性”があるため、記憶への定着率が高いと言われています。
2. かたい、やわらかい、しっとりといった紙の質感や加工(箔押し、エンボスなど)は、ブランドの信頼性や格を引き上げます。
3. デジタル広告とは違い、物理的な偶然性が魅力です。郵便物やカフェ、ロビーなど思わぬ場所での出会いが、新しい気づきや興味を喚起することもあります。

印刷に使われる基本的な紙には、コート紙、マットコート紙、上質紙などがありますが、実際には数千種類以上の紙が存在します。デジタル時代とはいえ、紙には温かみやぬくもり、印刷のにおい、手触りといった五感に訴える情報があり、それが共感や感動を生み出す魅力となっています。

しっとり落ち着いた雰囲気を出したいのにテカテカした発色がはっきりとした紙を使うよりは、色が馴染む、手触りのあるしっとりとした紙を選択する方がより魅力が伝わるのではないのでしょうか。

また、印刷には箔押しや型抜きなどさまざまな加工方法があり自社のオリジナリティを表現して、他社と差別化を図ることもできます。